

## 大震災と医薬品

参議院議員  
客員相談役 藤井 基之



この度の東北関東大震災により災害を受けられた皆様に心からお見舞い申し上げます。先月号の本欄で、「火山国日本の底力」というタイトルで、新燃岳の噴火に関連して、一七八三年の浅間山の噴火によって壊滅した鎌原村の復興のお話をご紹介しましたが、原稿をお渡しした数日後の三月十一日、マグニチュード九・〇という大地震と大津波が東北、関東の太平洋沿岸の町村を襲い、大変な被害が出てしまいました。何か、虫が知らせた、のような原稿であったと複雑な思いがしています。一日も早く、復興を成し遂げるために、私も国政に携わる者として全力を挙げてまいりたいです。

さて、今回の大震災では、被災地域も広域にわたり、死者・行方不明者合わせて二万七千人、避難者も二十万人に及びました。これら被災者の方々の避難生活も、すでに一カ月半を超えています。その支援のために被災地には大勢のボランティアが入り、活動しています。私は薬学の出身ですが、日本薬剤師会の呼びかけなどによって、多くの薬剤師もボランティアとして被災地入りし、医療面から支援活動を行っています。ところで薬剤師と言えればお薬ですが、今回のように大震災による避難生活が長期化した場合、被災地で必要な医薬品は時間の経過とともに変化していくことが知られています。平成七年一月、

阪神淡路大震災が発生し、六千人以上が死亡、家を失った人たちの避難生活も長期化しました。この阪神淡路大震災の際に、必要な医薬品が時間とともにどう変わっていったか、当時厚生省の検討会がまとめた資料等でご紹介してみましよう。

① まず、震災の発生から三日間ぐらいは、地震による外傷、熱傷、切創、打撲、骨折などの外科系薬剤が必要になりました。輸液製剤や血液製剤、鎮痛剤、抗生物質製剤、滅菌消毒剤、止血剤、強心剤、局所麻酔剤などです。

② 次に、三日目以降は、全国各地から派遣された医療チームが活動をはじめ、医療支援も本格化しましたが、地震

のショックなどによる精神的な障害（心的外傷後ストレス障害（PTSD））や不安症、集団避難生活からくる不眠症、過労、便秘症、食欲不振、腰痛、感冒、消化器疾患などの疾患が増えています。このため催眠鎮静剤や、消化性潰瘍剤、便秘薬、胃腸薬、整腸剤など消化器系の薬剤、また、冬場でしたから風邪も流行り、市販薬の総合感冒剤、鎮咳・去痰剤、が求められました。また、連日、おにぎりなど片寄った食事になるため、口内炎・舌炎などの薬剤、ビタミンB剤、

栄養ドリンク剤等が大変喜ばれたり、目薬、含嗽剤等が求められる等、市販薬が大いに活躍しました。

③ 避難所生活が一月、二月と長期化するにしたがい、周辺の医療機関や薬局も稼働するようになってきますが、まだ十分ではなく、避難所の臨時診療所に頼らざるを得ず、高血圧、糖尿病、心臓病等の生活習慣病の薬剤や喘息薬など慢性疾患の薬剤に対する需要が高くなりました。

今回は、地震だけでなく、津波による

被災、福島第一原発の事故による避難など、複合的な被災となっており、阪神淡路大震災の時とは必要な医薬品も趣を異にするかもしれません。特に、今回は、被災者の避難場所も広域にわたっており、数週間過ぎても、なお医薬品が足りないという避難者の声が続きました。いずれにしても、こうした災害時には、改めて医薬品の有用性、重要性を再認識させられます。被災地に確実に、安定して必要な医薬品が届けられるよう、私も全力を挙げさせていただきます。

### 藤井 基之

- 生年月日 昭和 22 年 3 月 16 日
- 選挙区 参議院比例区
- 当選回数 2 回
- 出生地 岡山県岡山市
- 趣味 音楽・読書
- 個人ホームページ <http://www.mfujii.gr.jp/>
- その他 薬学博士・薬剤師
- 私の政治信条  
私の政策の柱は A(エイジフリー) B(バリアフリー) D(ドラッグフリー:薬物乱用のない社会) 社会創りです。  
高齢者も、障害を持つ方も、国民誰もが安心して暮らし、元気で生活を送ることのできる長寿社会を創るために何が必要か、を政治活動の根底においています。  
好きな言葉「昨日の夢は、今日の希望、そして明日の現実」
- 活動報告  
参議院厚生労働委員会理事として、食品安全確保のための食品衛生法改正、健康増進法改正、薬事法改正、薬剤師法改正、クリーニング業法改正、国民年金法改正等に関与。
- 経歴  
昭和 37 年 岡山大学教育学部附属中学校卒業  
昭和 40 年 岡山県立岡山操山高等学校卒業  
昭和 44 年 東京大学薬学部薬学科卒業  
昭和 44 年 厚生省入省  
平成 9 年 厚生省退官  
平成 9 年 財団法人 ヒューマンサイエンス 振興財団 専務理事  
平成 12 年 日本薬剤師連盟 副会長  
社団法人 日本薬剤師会 常務理事  
平成 13 年 参議院議員 (1 期目)  
平成 16 年 厚生労働大臣政務官 (平成 16 年 9 月～平成 17 年 11 月)  
平成 19 年 日本薬剤師連盟 顧問  
平成 22 年 参議院議員 (2 期目)
- その他  
慶應義塾大学薬学部 客員教授  
昭和大学薬学部 客員教授  
東邦大学薬学部 客員教授  
新潟薬科大学 客員教授  
京都薬科大学 客員教授  
近畿大学薬学部 客員教授  
千葉大学薬学部 非常勤講師